



確定申告をお忘れなく! 2月16日から3月13日

来月より、確定申告の受付が始まります。期間内にお忘れなく申告されるよう、ご協力をお願いします。

日時 2月16日(月)～3月13日(金) ※土・日は除く
9:00～11:30、13:00～16:00

場所 役場1階会議室、寄地区各会場
(2月1日発行のおしらせ号に詳細は掲載予定)

※申告用紙は、1月26日(月)より税務課窓口、申告期間中は申告会場で配布します。 【問合せ】税務課 ☎(83)1224

●申告にあたってのお願い●

- ・3月12日、13日は、大変混雑します。早めに準備を進め、申告されることをお勧めします。
- ・申告にあたり、事前に添付書類(領収書等)の整理・計算をしておく、より迅速に申告ができます。

税理士会による無料申告相談

小規模納税者の方の所得税と消費税、年金受給者と給与所得者の方の所得税の申告を対象(土地、建物と株式などの譲渡所得のある方は除く)に申告相談会を開催します。

譲渡所得(株の譲渡を含む)のある方、所得金額が高額な方、住宅借入金等特別控除を初めて受けられる方、相談内容が複雑な方、税理士に依頼されている方はご遠慮下さい。

日時 2月4日(水)、5日(木)、12日(木)、13日(金)
9:30～12:00、13:00～16:00

※受付は、相談終了時刻(午前・午後とも)の1時間前に締め切ります。混雑の状況により早めに締め切ることがあります。

場所 (4、5日) 小田原市川東タウンセンター3階マロニエホール
(小田原市中里273-6)

(12、13日) 南足柄市役所5階大会議室(南足柄市関本440)
【問合せ】小田原税務署 ☎(35)4511

確定申告無料相談会

青色申告会では、所得税・消費税等、税理士等による個人の確定申告無料相談会を開催します。

日時 2月1日(日)～3月16日(月) ※土・日・祝祭日も実施
9:00～17:00(受付は16:30まで)

場所 納税センター 青色会館5階大ホール(旧県合同庁舎)
小田原市本町2-3-24 ※小田原駅東口より徒歩10分

※どなたでも無料でご利用いただけます。
※税理士による相談コーナー、お子様連れの方へのキッズコーナーも設置しています。

※確定申告用紙等の書類を全て用意しています。
【問合せ】小田原青色申告会 ☎(24)2613

年金受給者無料相談会

年金受給者の方を対象に、申告相談会を開催します。

日時 1月28日(水)、29日(木) 9:00～12:00、13:00～16:00

※受付は、相談終了時刻(午前・午後とも)の1時間前に締め切ります。混雑の状況により早めに締め切ることがあります。

場所 (28日) 小田原合同庁舎2階2E会議室(小田原市荻窪350-1)
(29日) 南足柄市役所5階大会議室(南足柄市関本440)

【問合せ】小田原税務署 ☎(35)4511

所得税・事業税・住民税申告相談会

所得税の確定申告書の書き方や、個人事業税・住民税の申告相談などを行います。相談を受けられる方は、収入金額、必要経費および所得控除額の分かるもの、確定申告書類、印鑑など申告に必要なものをお持ちください。

日時 2月4日(水) 9:30～11:30、13:00～16:00

※受付は混雑の状況により早めに締め切ることがあります。

場所 町民文化センター(展示ホール)

【問合せ】税務課 ☎(83)1224

学びの広場

松田町人権教育研修会

「子どもたちをケータイ・インターネットのトラブルから守るために」



12月6日に展示ホールで「子どもたちをケータイ・インターネットのトラブルから守るために」と題して、人権教育研修会が行われました。幼小中のPTAや社会教育団体から80名の方が集まりました。今回はその講演内容についてご紹介いたします。

①子どものケータイをめぐる状況

ケータイは小学生で3割、中学生で6割が使っている。保護者の了解(中学生)や名義(小学生)が契約に必要ことから、基本的に家庭の問題であること

②子どもに人気の「勝手サイト」

子どもは、電話ではなくメールやサイトを主に利用している。サイトで人気なのは「モバゲータウン」、「魔法のいらんど」、「前略プロフィール」など、中学生では「学校裏サイト」と呼ばれる掲示板サービスも利用されていること

③フィルタリングをめぐって

有害サイトへのアクセス制限には、フィルタリングサービスが提供されています(特に保護者から申し出があればはずせる)。しかし、フィルタリングを付けたとしても人気のサイトにアクセスできないので、子どもが親に頼んではずしてもらう場合も多いこと

④子どもとネットの問題をどう考えるか

「生活習慣」(事例1)、「被害」(事例2、3)、「加害」(事例4)の三つに分けて考える必要があること

⑤今後大切になるメディアリテラシー教育

テレビでもネットでも「送り手の意図を推測する練習をすること」がメディアリテラシー教育といえます。学校でもこれから教育に取り入れてほしいこと

講演の参加者から(一部要約)

- 子どもから「みんなが持っているから」と言われるとゆれてしまいますが、「まだ必要ないよ」と納得させることも必要だと感じました。
- ケータイの持つ危険性、不特定多数が見るサイト、子どもだけでなく親も認識することが大切、子どもとよく話し合い納得する解決法を見つけたいと思います。



▲文部科学省ではこの問題を重視し、DVDやパンフレット「ちょっと待って、ケータイ」を発行しています。上記はパンフレットより転載したものです。